

南大阪地域の  
医療機関情報誌

ご自由におとりください  
**FREE**

ご近所ドクター  
BOOK

2009.Spring



保存版

安心・頼れる「かかりつけ医」を  
みつけよう!  
先生の素顔や  
人柄に大接近!  
ドクターインタビュー

読者の声から生まれた一冊



地域別でスグに探せる!  
エリアマップ&医院情報

堺市・大阪狭山市・松原市・富田林市・河内長野市・藤井寺市・羽曳野市

病院・大学病院・医院情報や役立つインフォメーション満載!

あなたの周りのお医者さん74人大特集 病院インデックス760院

はと

発行●ニワダニネットワークシステム株式会社  
大阪府堺市中区深井沢町3289



Hello  
ご近所ドクター

Waki Dental Clinic

院長・一般歯科・小児歯科・矯正歯科・  
歯科口腔外科

脇 知邦 先生

医療詳細ページ有り 76P

# 回り回った患者さんが辿り着く “最後の歯科医”を目指す

10年、15年先を予測し  
先々の治療をプランニング

プロレーサーでスーパーGT参戦中の阪口良平選手の専属ドクターを始め、ラグビーアメフトなどスポーツ選手のスポーツマウスピース制作にあたるなど、院内にとどまらない幅広い活躍を見せる脇院長。医院では「患者さんにとって最後の歯科医でありたい」というコンセプトを掲げている。「色々回つたけど自分に合った歯科が見つからないという患者さんが多いと思います。そんな方にとってここが最後の医院、つまり他に探す必要がなくなり、ずっと通つてもらえる医院になりたい」と話す。そのためには「初診の際に目先のことではなく10年、15年先の将来的な経過を予測して、患者さんに伝えてあげられる力が必要です」。歯が悪くなつてから「10年前に削つたのが良くなかつた」と過去の治療に対する不満を訴える患者さんも多く、それに対してもきちんととした予測とアドバイスを提供できれば不満は解消できるという。そこまでの見通しを立てるための判断材料として“歯の並びを含めた噛み合わせ”と“顎の関節の位置”が挙げられる。



④以前はインプラント専門の医院に勤めていたという脇先生。院内にはオペ室を用意し、現在でもインプラント手術を行っている



## profile

◆血液型 B型  
◆星座 牡羊座  
◆出身 大阪府堺市  
◆出身大学 大阪歯科大学

◆趣味 レース観戦とミニカー集め

### ◆休日の過ごし方

子どもと遊んでます。家族との時間を大切にしています

### ◆好きな映画

サスペンス、アクション物が好きですが、子供がまだ小さくDVDアニメやヒーロー物ばかりを見せられています。少し前ですが、たまごっちの映画を見に行きました。みんなで1つのことを成し遂げるストーリーに弱いんで、2回ほど泣いてしまいました(笑)

### ◆座右の銘

「願い事はそれに対する努力と願う気持ちの大きさで必ず叶い、しかも絶妙のタイミングで叶う」

「就寝中の歯ぎしりの原因の一つは歯並びの悪さ。きちんと噛み合わないから、歯ぎしりで

調節してるので

す」。これが長期間続くと口周りの筋肉、

顎関節に影響し、顎関節症を患う。「顎

がカクカク鳴る、何度も治療しても悪く

なる歯がある、肩こり、頭痛、首の張り。

それは噛み合わせではなく顎関節が問

題なのかもしません」。顎関節は口の

開閉動作の中心部分で、ここが不安定

だと噛み合わせも不安定になる。しか

し顎関節症を起こす要因は歯ぎしりだ

けではない。その原因をデータから検証

し顎を含んだ全体の治療を進めるため、

アメリカのドクターに4年間ついて東京

で学んだ矯正専門医を毎月2~3回

招いている。「治療をしているとよく、木

を見て森を見ず“ということになりがち

です。当院では顎の関節を正したうえで

1本ずつ歯を治療し、全体の治療をし

ます」。こうした治療に対する患者さん

の反応は「どうと」「こんなこと言われた

ことなかった」と一緒に驚きの声をあげ

るという。「1本の虫歯でも、そうなっ

た原因を究明すると全体的な問題に

辿り着くんです」とまさに森全体の修



## 噛み合わせ、顎関節を含めた 全体的な歯の治療

### 病院での先生

#### ●医者になったきっかけは?

今でも父が現役で歯科医を続けているんですが、実家の家業だったんで何の迷いもなくなりました。高校の進路相談の時にも、担任の先生に勝手に決められました(笑)

#### ●ストレス発散法

仕事ではあまりストレスを感じないです、みんな頑張ってくれてるんで。周りの人には恵まれることもあります

#### ●印象に残っている患者さんは?

ずっと来てくれる患者さん。そういう方だと休みの日でもふと「あの人だいじょうぶかな」とか「そろそろ検診の時期かな」とか思います。そうすると実際に次の日の予約で入ってたりとか。僕の意識の中にも植え付けられます

「今後は“悪くならないための歯医者に行く”という習慣を広めたい」と話す脇院長。そのためには「アナログですけど来院した患者さん一人ずつに直接伝えるしかありません。また医師の口から伝えることで、患者さんにもきちんと受け止めてもらえると思うんです」。脇先生がいつも患者さんに伝えるのは「バイ菌が入つて、長いおつきあいができる」と同時に脇先生の治療スタイルへの理解が深まり、定期的に通う患者さんも増えているという。



く、ついに億劫になりがち。そんな患者さんの気持ちを汲んで、できるだけ来やすいような治療を提案している。「治療には時間もお金もかかりますから。理想論を押し付けるのではなく、患者さんの環境的、経済的状況を踏まえつつ無理なく通院していくだけで、長いおつきあいができる」と思っています」。こうした努力が実る